

オプション検査：スマートジーン法によるピロリ菌検査（上部内視鏡同時実施） 6,600 円（税込）

上部内視鏡検査の際に採取される胃液（通常は廃棄される検体）を利用し、ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）の感染の有無と薬剤耐性を、迅速かつ高感度に調べる検査です。

ピロリ菌の有無や薬剤耐性を正確に把握することで、最適な除菌治療の選択や、その後の適切な受診間隔の設定につながります。将来的な胃がんリスク評価の一助としても有用です。

本検査は、採血や内視鏡時の追加の組織採取（生検）を行う必要がなく、体への負担が少ないのが特長です。抗血栓薬を服用中の方でも安心して受けていただけます。さらに、プロトンポンプ阻害薬（PPI）などの胃薬の影響を受けにくく、より信頼性の高い結果が得られます。

内視鏡検査と同時に効率よく評価できるため、追加の来院や検査の手間を省きたい方にもおすすめです。

